



令和8年5月7日 <5月号>

〒929-0325

石川県河北郡津幡町字加賀爪又6番地1

TEL 076-289-2213

FAX 076-288-5535



「5月、仲間とともに伸びる月に」

校長 池島 隆久

新年度から一か月が過ぎ、生徒たちは新しい学年・学級にも少しずつ慣れ、授業に前向きに取り組む姿、仲間と協力する姿、部活動で一年生を支える上級生の姿など、さまざまな場面でよいスタートが見られます。

さて、5月は修学旅行等の校外学習、郡市陸上大会、中間テストと多くの行事が続きます。こうした時期だからこそ、大切にしてほしいことがあります。



安心して学べる授業をめざして

入学式や始業式で、「安心して学ぶことができる環境をつくる」ことの大切さを伝えました。授業では、相手の話を最後まで聞く「傾聴」の姿勢を大切にしてください。あいづちやうなずき、相手の考えを受け止める姿勢が、安心して学べる授業につながります。また、ペアやグループ活動では、一人になっている人がいないか気かけ、みんなで学び合うことを大切にしましょう。落ち着いて学ぶためには、私語を慎み、互いの集中を支えることも大切です。

「自治」が学校をつくる

今年度、本校は「自治による学校づくり」を掲げています。校外学習などで実行委員やプログラム委員が、自分たちの過ごし方やルールを自ら提案し、実行することは、まさにその一歩です。一方で、「二分前入室・一分前着席」が十分にできているか、チャイム前に教室を出ていないか、友だちへの心ない言葉や行動はないかなど、日常を見直すことも大切です。

本校では、嫌な思いをしている人がいる状態を「いじめ」と捉えています。一人一人が周囲に目を向け、自分にできる行動を考えることが、よりよい学校づくりにつながります。

校外学習と中間テストを通して「未来を切り開く力」を育てる

校外学習では、「協働する力」が問われます。「傾聴」や「誰も取り残さない姿勢」を意識し、「ありがとう」「ごめんね」「どうする?」といった言葉を大切にしながら、よりよい関係をつくってほしいと思います。

中間テストでは、「自律する力」が問われます。計画を立て、やり抜き、振り返ること、うまくいかない時に調整すること、その結果に責任をもつことも自律です。こうした積み重ねが、自分の成長につながります。

1年生にとっては初めての定期テストですが、3年生が、勉強の仕方や対策を教えてください。安心して取り組んでください。



自分の心を大切に

5月は行事が多く、また、新しい環境でのがんばりが続いた分、疲れが出やすい時期です。なんとなく気分が重い、やる気が出ない、そんな時は、一人で抱え込まず、先生やスクールカウンセラーに相談してください。相談することも、自分を大切にする力の一つです。

5月は、「学び」「自治」「心」を整えながら、自分と仲間を成長させる月です。互いを大切にしながら、みんなでよりよい津幡中学校をつくっていきましょう。



安心して参加できる授業が、主体的で深い学びの土台

○傾聴

友達の意見を最後まで聞く / 相手に体と顔を向ける / 「うん」「なるほど」で話し手を支える

○みんなが参加

グループに入れない人がいないか確認 / 出来る人に任せきりもダメ。順番に話して全員参加

○私語禁止(求められていないのに答えを言うことも私語)

思考を妨げず、集中できる場に / 授業に関係があっても勝手に話さない